



安全安心な社会を創る建設技術を紹介します！

第27回 茨城会イブニングセミナー

主催：(公社)土木学会関東支部茨城会

土木学会関東支部茨城会では、都市空間の安全安心を創る様々な建設技術について、最先端の研究者・技術者をお招きして勉強する会を広く一般に公開しています。業務との関係を考慮しまして、仕事帰りに勉強できるよう、夕方 18:00 開会のイブニングセミナー形式を取っています。私どもが安心して暮らすことのできる社会を創るための建設技術を多くの方々に知って頂きたい、参加費は無料とし（会場準備の関係上事前登録制）、技術者の継続学習への貢献を考え、希望者には土木学会 CPD 単位をお渡ししております。この度は下に示す講師による講演を企画いたしました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。どうぞお気軽に参加登録を頂ければと存じます。

○開催日時：2025年2月5日（水） 18:15～ 受付：18:00～

○場所：(一社)茨城県産業会館2階研修室（水戸市桜川2-2-35）

○プログラム：

18:15～ 開会

ごあいさつ（公社）土木学会関東支部茨城会 会長 小柳 武和（茨城大学名誉教授）

18:20～

演題1：「ひたちなか・インフラの今昔物語（「常陸那珂地区開発への軌跡）」

講演者：元茨城県土木部長、元(株)茨城ポートオーソリティ社長、現取締役 後藤 和正 氏

概要：ひたちなか市の那珂湊・勝田地区の古から戦前・戦中の歴史的インフラ整備や街づくりを振り返り、常陸那珂地区開発への軌跡となる戦後の水戸対地射爆撃場の返還、国際港湾公園都市公園の立案、これに基づく都市づくり、中核となる港湾建設の経緯や現状を紹介する。更に北関東自動車道と直結した港湾利用や地域振興への検証を行い、この地区のこれからの役割や発展可能性について展望する。

主な内容

- ・ひたちなか市のインフラ整備の変遷
- ・常陸那珂地区開発の経緯と港湾建設
- ・今後の地区の役割と将来への期待

演題2：「構造物のBIM/CIM化-文化財のデジタルアーカイブに活用-」

講演者：国際航業株式会社 事業統括本部先端技術開発部 山本 和祥 氏

概要：既存構造物や文化財のデジタルアーカイブの取組として、3D点群計測したデータを元にしたBIM/CIM化の取組が近年進んでいる。「中野サンプラザ」や「京都市嵯峨街並保存館」での取組を事例として、3D点群データの取得から3Dモデルへの展開、そして建築図面（平面、横断、立面図※BIMモデル）の作成事例までを紹介する。この技術は土木構造物にも十分適用可能なものと考えられ、今後多方面での普及が期待されている。

20:30 閉会

○参加費：無料（事前登録制、連絡先は下記）

○特典：希望者には土木学会 CPD 単位が発行されます（2.2単位）

単位ご希望の方はセミナー開催当日申請方法をご案内いたします

○申込方法：下記ウェブページより参加登録をお願いいたします

<https://forms.gle/dtX6XsvYMrYH29PBA>

○申込期限：2025年1月29日（水）

※定員に達し次第、締切とさせていただきます



※出席確認時の混乱を避けるため、おひとり様ずつのお申込みをお願いいたします
メールアドレスは重複しても構いません

※感染症の流行状況により、開催の延期もしくは中止のご案内をする場合がありますことを
あらかじめご了承ください

○連絡先：〒316-8511 日立市中成沢町 4-12-1 茨城大学日立キャンパス
公益社団法人 土木学会関東支部茨城会事務局 担当：曾我部
E-mail：jsce.ibaraki@gmail.com